

1. 要求を掘り起こす

では始めます。

あなたにとって一番印象に残っているまち（街/町）はどこですか。

自分にとって、一番印象に残っているまちです。普段考えたことがないことだと思いますが、一生懸命選びます。修学旅行で行ったまちでもいいし、昔住んでいたまちでもかまいません。この日本語ならば、テレビで見たまちであってもよさそうです。

➔ 自分にとって、一番印象に残っているまち（街/町）はどこか選ぶ。(要求①)

それはなぜですか。

「そのまちが一番印象に残っているのはなぜか」という意味ですね。あなたが選んだので、他の人にとってではなく、自分にとってです。そのまちが、一番印象に残っている理由を考えます。

➔ そのまちが、一番印象に残っている理由を述べる。(要求②)

80語以上の英語で書きなさい。

80語を超えていればOKですが、100語くらいにはおさめておくと、安全かもしれません。正直、110でもいいと思っています。

➔ 80語以上の英語。(要求③)

2. 要求にできるだけこたえる

ひとつひとつ、答えていきます。

要求①

自分にとって、一番印象に残っているまち(街/町)はどこか選ぶ。

僕は何といっても、広島です。育ち(埼玉)も、大人になってから住んでいるところ(関西)とも違うのですが、広島です。「自分にとって」ということなので、誰が何と言おうと問題はありません。文レベルで答えるのをお忘れずに。

➔ 一番印象的な街は広島だ。(内容①)

ちなみに、この出題は、思い余って自分のことをそのまま書いてしまいました。「仕事」が前提となっていて、みんなには発想できない状況を例にしてしまいました。悪しからず。

要求②

そのまちが、一番印象に残っている理由を述べる。

いろんな理由があると思います。広島焼きもおいしいし、野球好きにとってはマツダスタジアムはたまりません。さり気においしいケーキ屋さんもあるのですが、何よりも僕にとっては、その街に通い、自分の住んでいる街という気分にさせてくれたことです。

➔ 自分の住んでいる街という感じになれた。(内容②)

要求③

80 語以上の英語。

「以上」とは言いながら、さすがに 200 語書くわけにはいきません。取り立てて基準があるわけではないのですが、100 語あたりにおさめていきましょう。そうすると、6 文くらいが予想されます。

➔ 80~100 語の英語。

まとめます。

要求① ➔ 一番印象的な街は広島だ。(内容①)

要求② ➔ 自分の住んでいる街という感じになれた。(内容②)

要求③ 80~100 語の英語。

3. 話し手の疑問を積極的に掘り起こして答える

出てきた内容を見ながら、説得力を持たせていきましょう。

内容①

一番印象的な街は広島だ。

どこを選んでもいいはずなのに、広島を選びました。どういう観点なのかを説明しなければなりませんね。もう慣れてきたと思いますが、「理由」を答えるとそれが満たされます。が、内容②でそれにこたえています。そのまま次に進みたいのですが、ちょっと一言。もし仮に、「タイのチェンライ」と答えたならば、「え？なんでそんなことつながりがあるの？」という驚きが予想できます。その場合には、僕のチェンライとのつながりを丁寧に説明する必要が出てくるでしょう。ですが、広島の場合は、驚かすほどではないので、このまま進みます。

内容②

自分の住んでいる街という感じになれた。

普通、自分の住んでいない街は、自分の住んでいる街のようにはなりません。これを聞いた時に、「どういうこと？」という疑問が予想できます。そこで、その説明をしていきます。

➡ **かおなじみのお店ができたり、食堂に行っても、知り合いがいるようになった。(内容③)**

そうなのかもしれません。が、そもそも自分で住んでいない街に、そこまでの馴染みができることは、普通ありません。「それでもそんなのありえない？」という疑問を想定し、その答えを、その説明と

して付け加えていきます。

- ➔ **仕事で何回も行くことがあり、そこでできるだけ、地元の人が通う店に行くことにした。(内容④)**

このくらいで、だいぶ疑問が生じにくくなっていますが、可能な限り疑問を見つけ出します。出張などがある場合、有名店に行くのが好きな人もいるし、様々です。特別になぜ、地元の人が通う店に行くことを選んだのか、説明してあげるといいと思い、次のものをつけ足しました。

- ➔ **普通の生活を見るのが好きだ。(内容⑤)**

これくらいで、疑問はなくなったと判断しました。内容が5つで、5文であらわす予定なので、6文という目安からは1文足りなさそうです。増やす方向を考えますが、これくらいは作りながらできると考え、次に進むことにしました。

英文にしておきます。

内容① Hiroshima is one of the most impressive places now.

内容② I feel as if it was my hometown.

内容③ The chefs of some restaurants began to recognize me, and when I went to a restaurant I even found some friends.

内容④ Some years ago, I went to Hiroshima frequently on business. I decided to go to places where local people enjoyed themselves.

内容⑤ I basically like to be exposed to local cultures.